



入船だより

横浜市立入船小学校
校長 中村 公俊
学校だより 2月号
令和6年1月31日発行

子どもたちの学びの広がり

学校長 中村 公俊

10か月が過ぎ、学年・学級では1年のまとめの時期になっています。今年度は感染症対策が緩和されたこともあり、校外へ出かけたり、地域の方と触れ合ったりする機会が増え、子どもたちの学び・活動の幅がぐんと広がりました。

地域の方との触れ合いでは、鶴見沖縄県人会の方との交流や、入船の森保育園との交流、地域の方やグリーンボランティアの方との交流など多くありました。学年ごとの活動内容や学習課題に対して、対象となる相手は違いますが、どの方も質問やリクエストに対し、一つ一つついでに話していただき、また、答えていただき、本当にありがたく感じるとともに、その方々を通して地域を愛する心の礎が養われていると感じました。

校外活動や社会科見学、出前授業など外部の方と接する機会も増え、校外活動としては、

- 野毛山動物園遠足（1・2年） ・花月園公園遠足（3年） ・上郷宿泊体験学習（4・5年）
 - 合同宿泊学習（個別支援学級） ・日光修学旅行（6年） ・東京見学（6年、2月予定）
- を行いました。

また、社会科見学や出前授業として、

- 3年生
- スーパーマルエツ ・森永製菓鶴見工場 ・神奈川県警察本部
 - 鶴見消防署入船出張所
- 4年生
- 横浜市北部第二水再生センター ・横浜市環境事業局鶴見工場
 - 東亜建設工業株式会社 ・NPO法人海の森、山の森事務局
- 5年生
- 日産自動車株式会社 ・株式会社ツルミ紙業 ・株式会社バンダイ
 - AGC株式会社 ・味の素株式会社
- 6年生
- JICA横浜 ・劇団四季 ・早稲田大学狂言研究会
 - MAHALOH（スーパーマーケット）

と関わりを持ち、学習を深めました。様々な企業や施設では、実際に働いている様子や、製品の生産工程などをわかりやすく伝えていただき、興味・関心をもって学習することができました。視聴覚機器等からの情報だけでなく、「本物に触れる」ことの重要性を再認識しました。

これからも、子どもたちの学びの広がりを支え、伸ばしていきたいと思えます。



3年 森永工場見学



4年 NPOとごみ問題の取組



5年 味の素見学



6年 劇団四季